

衛研第2-33号  
平成29年11月15日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 結核の届出状況（月報）
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 45 週 (平成 29 年 11 月 6 日～平成 29 年 11 月 12 日)

## 今週の注目される疾患

図は 次ページを参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸チフス 1 人の届出があった。四類感染症は、つつが虫病 1 人、デング熱 1 人、ブルセラ症 1 人、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、急性脳炎 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 1 人、梅毒 4 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.56 2.95：図 1)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、川口(6.59)、春日部(4.67)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、4 歳～7 歳で全体の半数を占めている。**咽頭結膜熱**(0.70 0.72：図 2)の定点当たり報告数は前週と同水準であったが、依然として過去 4 年の同時期より多い。保健所別では、朝霞(1.53)、幸手(1.44)、春日部(1.33)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4 歳の報告数が最も多い。**感染性胃腸炎**(4.06 5.17：図 3)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、13 保健所管内で前週の定点当たり報告数より増加し、熊谷(6.78 10.78)保健所管内では大きな増加となった。**インフルエンザ**(0.67 0.78)の定点当たり報告数はわずかな増加に留まった。保健所別では、鴻巣(2.58)、秩父(1.80)、加須(1.60)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 2 人、**流行性角結膜炎** 50 人(前週は 41 人)の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 3 人、**マイコプラズマ肺炎** 7 人、**インフルエンザ(入院)** 3 人の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

<b>一類感染症</b>	報告なし	
<b>二類感染症</b>	報告なし(結核を除く)	
<b>三類感染症</b>	腸チフス	1 人(推定感染地域 国外)
<b>四類感染症</b>	つつが虫病	1 人
	デング熱	1 人(推定感染地域 国外)
	ブルセラ症	1 人(推定感染地域 国外)
	レジオネラ症	2 人(病型 肺炎型 2 人)
<b>五類感染症</b>	急性脳炎	1 人(病原体 不明)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人(血清群 A 群)
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
	梅毒	4 人(病型 早期顕症 期 2 人、早期顕症 期 1 人、無症状病原体保有者 1 人)

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

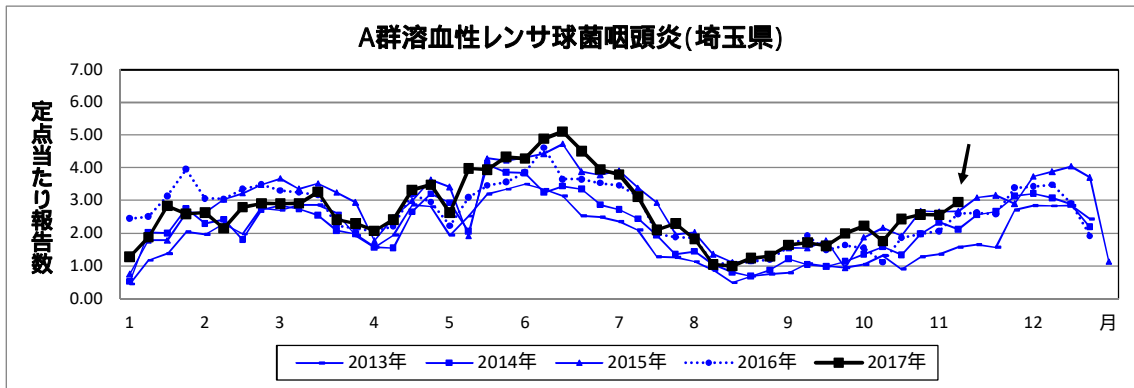


図2 咽頭結膜熱

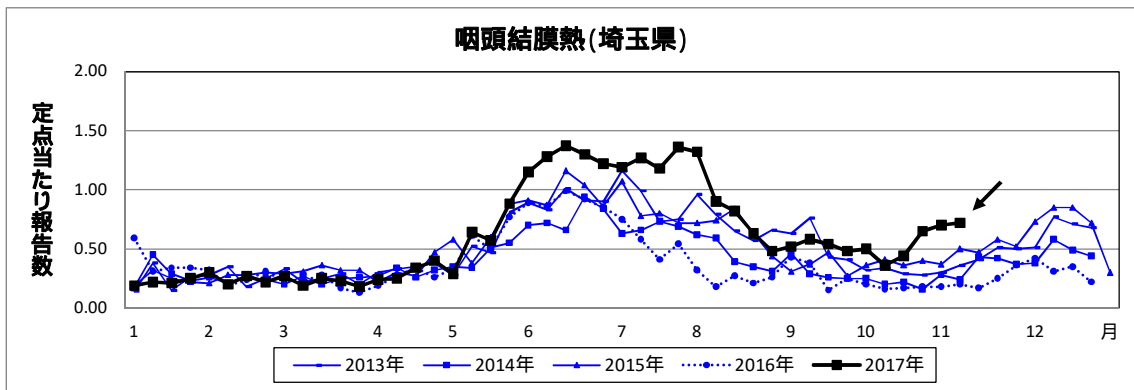
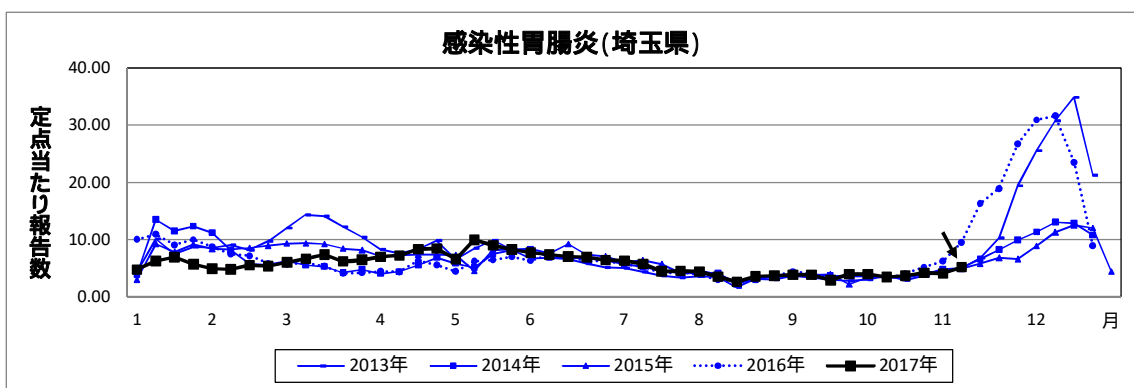


図3 感染性胃腸炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第45週)

(2017年11月14日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス	1	3
細菌性赤痢		6	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		237			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		18	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		12	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症	1	1
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	91
つつが虫病	1	1	レプトスピラ症		2
デング熱	1	12	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		46	侵襲性肺炎球菌感染症	1	105
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		10	水痘*		12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		53	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	39	梅毒	4	187
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	17	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		31	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		10
ジアルジア症			風しん		5
侵襲性インフルエンザ菌感染症		15	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		7
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	7	3		

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(10月分)

10月の届出総数は、患者62人、疑似症患者2人、無症状病原体保有者54人の計118人で、患者数は前月より増加したが、前年の同月と比較すると少なかった。無症状病原体保有者の数は前月よりやや増加し、前年の同月と比較しても多かった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年10月～2017年10月)

	2016年*			2017年										累計**
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
<b>総計</b>	119	82	111	101	105	105	100	120	115	109	116	107	118	1096
<b>年齢階級</b>														
10歳未満	3	1	4	0	2	2	4	5	2	4	6	8	3	36
10歳代	2	1	0	1	1	3	0	3	0	1	5	1	5	20
20歳代	11	9	9	7	7	7	10	9	9	10	9	8	13	89
30歳代	7	7	10	12	6	6	7	14	8	9	5	11	7	85
40歳代	10	10	13	6	15	11	7	13	8	12	16	13	19	120
50歳代	19	13	17	8	6	9	13	8	14	11	6	13	16	104
60歳代	17	9	18	25	21	18	12	19	19	12	16	13	15	170
70歳代	27	11	20	20	18	26	18	18	22	24	17	18	16	197
80歳以上	23	21	20	22	29	23	29	31	33	26	36	22	24	275
<b>性</b>														
男	72	45	77	70	62	64	64	75	67	64	61	49	64	640
女	47	37	34	31	43	41	36	45	48	45	55	58	54	456
<b>類型</b>														
患者	74	55	64	75	77	76	67	89	79	81	75	56	62	737
感染症死亡者の死体	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	1	1	2	13
無症状病原体保有者	44	27	44	25	28	27	31	31	35	25	40	50	54	346
<b>病型</b>														
肺結核	56	38	50	55	58	57	50	63	66	58	52	48	49	556
肺結核及びその他の結核	5	3	2	5	4	6	6	8	4	3	7	2	2	47
その他の結核	14	14	12	15	15	13	11	18	9	20	16	6	11	134
疑似症患者	0	0	3	1	0	2	2	0	1	3	1	1	2	13
無症状病原体保有者	44	27	44	25	28	27	31	31	35	25	40	50	54	346

\*:2016年の届出数は暫定値

\*\* :2017年1月からの累積届出数

10月に診断された118人を病型別にみると、肺結核では10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から計49人の報告があり、80歳以上が16人で最も多かった。無症状病原体保有者ではすべての年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年10月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
<b>総計</b>	49	2	11	2	54	118
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	3	3
10歳代	0	0	0	0	5	5
20歳代	3	0	1	0	9	13
30歳代	5	0	0	0	2	7
40歳代	7	0	1	0	11	19
50歳代	3	1	3	0	9	16
60歳代	9	0	1	1	4	15
70歳代	6	0	2	1	7	16
80歳以上	16	1	3	0	4	24



感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第45週 平成29年11月6日～平成29年11月12日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ #1	198	-	1	6	6	8	7	27	22	9	14	11	39	10	4	9	13	3	5	-	4
RSウイルス感染症	78	14	21	23	9	6	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	117	1	4	18	11	18	25	17	10	5	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	478	-	2	13	23	27	55	64	66	64	44	42	56	5	17	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	837	10	43	118	87	83	101	82	57	43	35	30	72	17	59	-	-	-	-	-	-
水痘	89	2	2	5	6	1	8	9	12	15	14	7	7	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	290	-	11	75	72	54	27	17	17	5	4	-	5	1	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	10	-	1	-	1	-	3	1	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	81	-	20	50	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	55	-	4	11	16	7	6	5	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	34	-	-	3	-	5	4	7	7	4	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	50	-	-	3	2	3	2	1	1	1	2	1	-	2	7	11	9	2	1	1	2
細菌性髄膜炎 #2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	7	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報 第 43週

( 10月23日～10月29日 )

平成29年11月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.78)、福井県(2.50)、福岡県(0.91)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は18例と前週と比較して減少し、10道府県から報告があった。

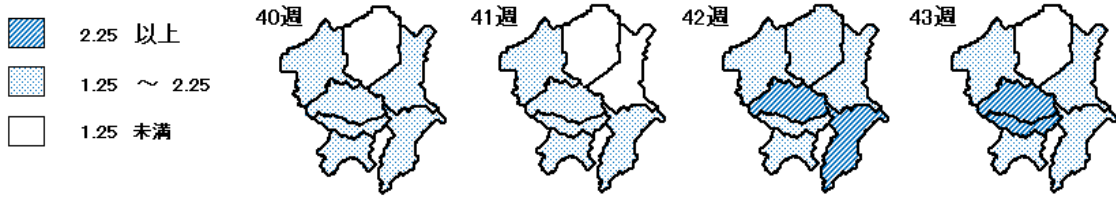
RSウイルス感染症の報告数は4,083例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約69%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(2.65)、山形県(2.60)、宮崎県(1.33)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.00)、山形県(3.90)、北海道(3.78)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.44)、愛媛県(7.54)、大分県(6.11)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.60)、沖縄県(0.50)、石川県(0.48)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(4.48)、愛媛県(4.16)、茨城県(3.72)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(0.43)、岩手県(0.38)、栃木県(0.23)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.57)、愛媛県(1.19)、大分県(1.08)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(3.13)、群馬県(1.13)、宮城県(0.92)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。3道府県から5例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(3例)、5～9歳(1例)であった。

## <関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(2.57)、東京都(2.48)からの報告が多い。

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



		平成29年 43週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,772	517	28	16	16	97	142	142	76
	定点当たり	0.36	0.34	0.23	0.21	0.17	0.38	0.66	0.34	0.22
RSウイルス感染症	報告数	4,083	600	71	76	38	101	101	131	82
	定点当たり	1.29	0.63	0.95	1.58	0.66	0.62	0.75	0.50	0.38
咽頭結膜熱	報告数	1,687	437	25	9	48	105	58	124	68
	定点当たり	0.53	0.46	0.33	0.19	0.83	0.65	0.43	0.48	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,204	2,034	129	48	108	416	299	648	386
	定点当たり	1.97	2.14	1.72	1.00	1.86	2.57	2.21	2.48	1.81
感染性胃腸炎	報告数	11,455	3,422	268	96	134	681	400	1,058	785
	定点当たり	3.63	3.59	3.57	2.00	2.31	4.20	2.96	4.05	3.69
水痘	報告数	924	292	14	12	16	57	31	85	77
	定点当たり	0.29	0.31	0.19	0.25	0.28	0.35	0.23	0.33	0.36
手足口病	報告数	6,522	2,841	279	150	82	497	355	697	781
	定点当たり	2.07	2.98	3.72	3.13	1.41	3.07	2.63	2.67	3.67
伝染性紅斑	報告数	219	97	1	11	3	12	8	21	41
	定点当たり	0.07	0.10	0.01	0.23	0.05	0.07	0.06	0.08	0.19
突発性発しん	報告数	1,373	435	16	25	22	72	61	121	118
	定点当たり	0.44	0.46	0.21	0.52	0.38	0.44	0.45	0.46	0.55
百日咳	報告数	49	7	-	-	-	4	1	2	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.02	0.01	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	1,258	463	28	5	38	131	72	119	70
	定点当たり	0.40	0.49	0.37	0.10	0.66	0.81	0.53	0.46	0.33
流行性耳下腺炎	報告数	982	201	9	10	22	34	26	40	60
	定点当たり	0.31	0.21	0.12	0.21	0.38	0.21	0.19	0.15	0.28
急性出血性結膜炎	報告数	6	3	-	-	-	1	1	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.02	0.03	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	517	212	18	5	18	46	25	28	72
	定点当たり	0.74	1.02	1.06	0.42	1.29	1.12	0.71	0.72	1.44
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	-	-	0.11	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	17	4	-	-	-	-	1	1	2
	定点当たり	0.04	0.05	-	-	-	-	0.11	0.04	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	153	28	4	2	9	1	2	6	4
	定点当たり	0.32	0.35	0.31	0.29	1.13	0.10	0.22	0.24	0.50
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



感染症発生動向調査 2017年

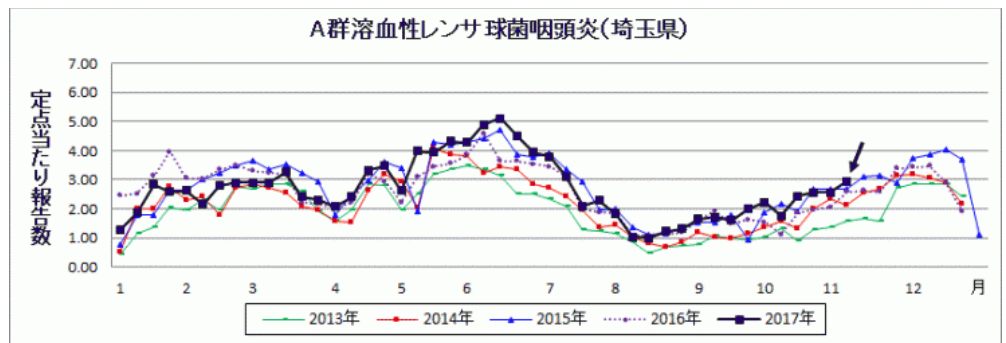
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第35週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第36週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第37週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第38週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第39週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第40週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第41週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第42週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第43週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第44週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第45週](#)

感染症の流行状況 2017年 第45週

2017年第45週（平成29年11月6日～11月12日）の要点 平成29年11月15日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★★	<a href="#">百日咳</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↓	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	↓	★★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	↑	★★★

\*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2. 推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3. 流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン